



11月 宮城・岩手に個人で視察、地元の方々のお話を伺ってきました。

今回は議員の立場ではなく、災害ボランティアの研修で地元の方々のお話を聞いてきました。被災直後は、地元の方々からお話を聞く事は出来ませんでした。今「被災地を忘れてほしくない」とボランティアや地元の方々が震災を語り継ぐ取り組みを行なっています。言葉と同様に残された跡も大切な多くの事を語りかけてきました。教えて戴いた大切な教訓を、防災・支援活動に活かしていきます。



南三陸町の防災庁舎



仙台空港のターミナル内にある復興を願い書かれた高校生の書



裏山に避難する事が出来ていれば…と災害後に言われた大川小学校 平常時に災害時のマニュアルや防災知識を学習する必要性を感じます。



津波が来る事が予想され様々な場所に避難誘導表示があるのだが、心の油断が多く犠牲を出したと話して頂きました。

12月議会 一般質問

まちづくりについて

2月1日を「能美市の日」として発展を願う

九谷陶芸村での茶碗祭りを活かした戦略を

能美古墳群に修学旅行誘致と周辺整備を

国際交流について

国際交流室を設置し市民交流の発展や外国人の利便改善を

提案・要望が実現しています！

☆防災訓練を行い体験する事が必要。災害備蓄の整備を（3月議会一般質問）

●防災訓練を実施・冠水対策や防災用品の備蓄強化が進んでいます。

☆九谷焼を能美市ホームページから効果的な発信を（3月議会一般質問）

●市のホームページから九谷焼の発信を行なっています。

☆就労継続支援事業で障害者授産施設の商品販売拡大の支援を（3月教育福祉常任委員会）

●福祉事業所製品の販売支援にパンフレットを作成します。

☆子育て支援センターの建設に市民団体や利用者の声を（6月議会一般質問）

●子育て支援センターの施設設計や利用に市民の声を取り入れています。

☆土砂災害による被害にさらなる対応を（9月議会一般質問）

●土砂災害復旧事業に県と市の予算が計上され個人負担が軽減されました。

☆寺井地区公民館の改修にあたり階数など分かりやすい表記に（8月議会全員協議会）

●寺井地区公民館の部屋名が変更されます。

第1視聴覚室・第2会議室・研修室・小会議室など

場所や何階かが分かりづらかった部屋名を

101会議室・202会議室などと階数を記して変更し、分かりやすくなります。

●福祉・環境ボランティア活動も行っています。（10月～11月）



小学校での福祉体験授業 雨の日の場合の車椅子体験



公民館での高齢者レクリエーション



中学校での環境授業



美味しい物を食べて ちょっぴり支援？ してきました。



能美市議会議員 田中さくじろう

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2

TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209

Mail 3926@e-mail.jp HP http://3926jp.net/



## 1 2月議会 一般質問 (12月11日)

### 1 「まちづくり」について

#### ●2月1日を「能美市の日」として、市の一体感を喚起させる記念日に

能美市は平成17年2月1日に能美郡の根上町・寺井町・辰口町が新設合併し、発足。来年平成26年2月1日で能美市誕生満9年が経ち10年目を迎えますが、まだまだ根上・寺井・辰口と地域感情が多く残っています。

それぞれが地域を思い・考え・支える事は大変に素晴らしく大切な事です。

しかしながら一方では地域観点が強くなり過ぎ、能美市全体での考え方や発展に  
しぼりになっている事も、多くの市民の皆さんも実感として感じられています。

**市民が共に一体感を感じ喚起を促すために2月1日に分科会等の開催を行ない  
「市民が能美市の未来を考える日」にする事は出来ないか？**

**市長** 市民の一体感が得られるならば「能美市の日」を広く意見を聞き検討したい。  
平成27年2月1日には記念式典を予定しており、今後内容を検討していく。



12月議会には2日間で  
12名が質問に立ちました。  
(テレビ小松の映像より)

#### ●九谷陶芸村での九谷茶碗祭り開催を迎え九谷焼産地を活かした観光戦略を問う

県内外から20数万人が訪れ能美市への観光誘客力がある「九谷茶碗まつり」を  
**祭り期間中だけの一過性のものでなく、九谷焼や能美市の良さを知ってもらう  
機会としてとらえ、通年型の観光戦略を考えるべき。**

九谷焼関連の既存の建物で茶碗祭りの雰囲気「お祭り記念館」演出や、  
九谷陶芸村で屋外での九谷焼や能美市関連物産の「露店」や「九谷焼テント市」を  
通年型で行う支援ができないか？

**市民生活部長** 市民団体が定着型イベントとして陶芸村でテント出店者を募っている。  
南加賀の九谷焼関連施設の共通パスポート導入など観光戦略を考えている。  
「伝統九谷」「アート九谷」を活かし九谷焼業者の後方支援にあたる。

通年型のにぎわい作りと地域の高齢者の買い物支援や茶碗祭りの地域理解のためにも  
**九谷陶芸村での道の駅に類似する販売施設が出来ないか？**

**市民生活部長** 販売施設は難しい。のみバスの利便性の改善や  
地域NPO団体「えんがわ」の支援で対応している。



陶芸村まつりでのパラソルアート

P 2



井出敏朗県議も傍聴に

#### ●能美古墳群の整備と県内外の小中学校高校の遠足や修学旅行誘致を望む

和田山古墳から出土されていた須恵器に日本最古となる文字が書かれてある事が  
今年9月に確認され全国的に大きな反響を呼びました。秋常山古墳は北陸最大規模の  
前方後円墳であり周辺整備が進んでいます。

須恵器が出土した**和田山古墳群の荒廃も進んでおり、白山を望む事の出来る城跡の  
樹木の伐採や見晴らし台の修復整備も望みます。**

**教育長** 完成から30年が経過し防災上や宿泊施設への配慮を考えたい来年度に整備を。  
この歴史教育にとって重要であり貴重な文化史跡を多くの人に知ってもらうために、  
**県内や近隣県外の小中学校高校の遠足や修学旅行に招致を行なってはどうか。**

**教育長** 小中学校向けパンフレットを平成23年度より毎年県内300校に学習プランを  
提案した冊子を配布し好評を得ている。体験型や広場の充実をさらにPRしていく。  
市各課が連携しこれまで以上に力を入れて修学旅行の誘致に取り組んでいく。

現在でも大型バスでの見学があり**秋常山古墳周辺では「連絡道路が分かりにくい」  
「道路が狭い」「駐車場が無い」**などの不便も聞こえております。  
その対応も出来るだけ**早急に整備を進める事が必要だ**と考えます。

**教育長** 来年度に案内板設置を検討。道路については西山古墳群の整備の中で一体的に検討。  
来年度、文化庁の全国の巡回展示で須恵器の展示と紹介をおこなう  
**史跡の積極的なPRは魅力あるまちづくりや地域の活性化につながる**と考える。

30年が経過し荒廃が  
進む和田山末寺山古墳群  
国の文化財指定を受け  
整備が進められる事に



### 2 国際交流について

#### ●国際交流室の設置や国際交流協会を発足し市民交流の発展や外国人の利便改善を

現在、能美市では国際交流団体が7団体あり、それぞれが色々な活動を行なっています。  
市内に北陸先端大学があり、また地域の企業でも多くの外国の方が働いている事から  
能美市には金沢市・小松市に次ぐ県内3番目約700名の外国の方が住んでおり人口に  
対する比率では県内トップです。その団体の方々が活動する中で、能美市には窓口に  
なる国際交流協会や国際交流室がありません。

外国人の方々が医療にかかる場合や災害時の対応についても多くの不安を抱えています。  
先日も新聞で県内市町村での災害時の外国人支援対応がまだまだ少なく「県が講習など  
支援を呼び掛ける」との記事もありました。小さな事ではゴミ出しの方法や交通標識や、  
のみバスの外国語版も欲しいなどと聞きました。それには**市民団体の大きな協力が必要、  
その窓口になる国際交流協会や国際交流室が作れないか？**

**教育長** 国際交流協会については、それぞれの活動や目的が違い難しいと考える。  
今後は国際交流協議会の中で発足に向けた議論をしていく。  
国際交流室を今後は重要なものだと考えている。生涯学習課が色々な事業を展開  
しており、それを発展させる形での国際交流室になるのではないかと考えている。

P 3